

## 調査概要

1. 調査期間 平成30年4月20日(金)～5月11日(金)
2. 調査対象 札幌商工会議所定期景気調査 登録企業639社
3. 回答状況 322社（回答率50.4%）
4. 調査項目
  - ① 4月の景況感（売上・採算等）と先行き見通しについて
  - ② 付帯調査…採用動向について  
～平成29年度の実績と平成30年度の見通し

## 5. 回答企業属性

業種					資本金					従業員					
サービスその他	建設	卸売	製造	小売	1千万円以下	1千万円超～5千万円以下	5千万円超～1億円以下	1億円超～3億円以下	3億円超	5人以下	6～20人	21～50人	51～100人	101～300人	301人以上
41.9	23.4	15.3	11.3	8.1	28.8	46.9	12.2	2.5	9.7	11.9	27.5	29.1	12.8	11.6	7.2

※単位：%

## ① 3月の景況感と先行き見通しについて

※ ● 4月D I ◆ 先行きD I

※D I値について…ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

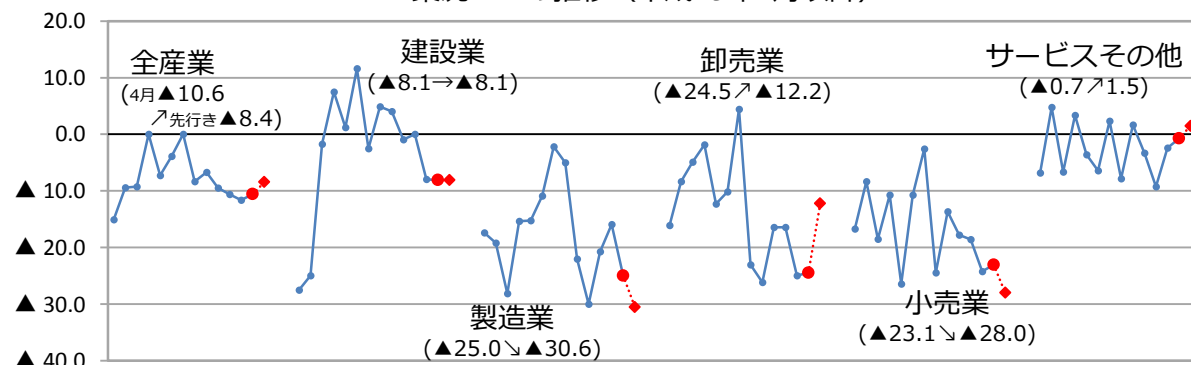
※先行き見通しD I＝当月(4月)と比べた、向こう3ヶ月(5月～7月)の先行き見通し

$$\text{業況D I} = \frac{(\text{好転}-\text{悪化}) \times 100}{(\text{好転} + \text{不変} + \text{悪化})}$$

### 4月の業況D Iと先行き見通し

業況D Iは▲10.6と4カ月ぶりに改善。先行きD Iも▲8.4と改善を見込む。

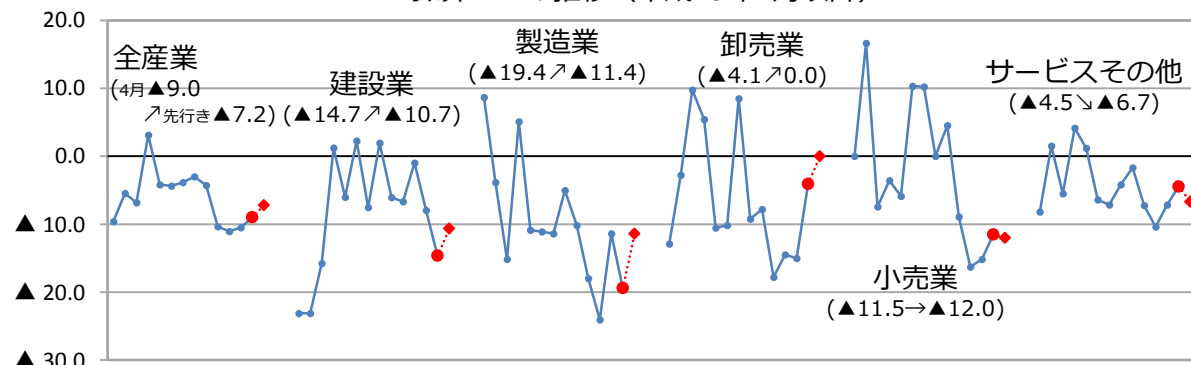
業況D Iの推移（平成29年4月以降）



### 4月の採算（経常利益）D Iと先行き見通し

採算D Iは▲9.0と2カ月連続で改善。先行きD Iも▲7.2と改善を見込む。

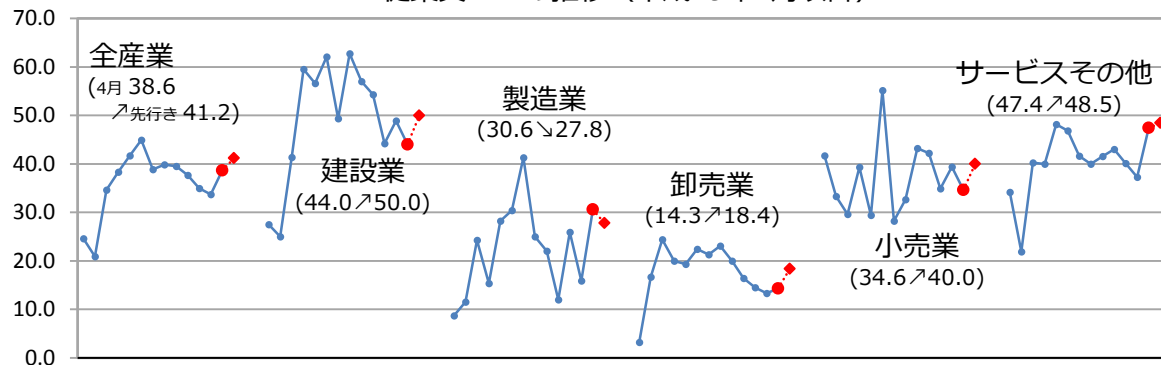
採算D Iの推移（平成29年4月以降）



### 4月の従業員D Iと先行き見通し

従業員D Iは38.6と前月から増加し、人手不足感が強まった。先行きD Iは41.2と一層の人手不足感上昇を見込む。

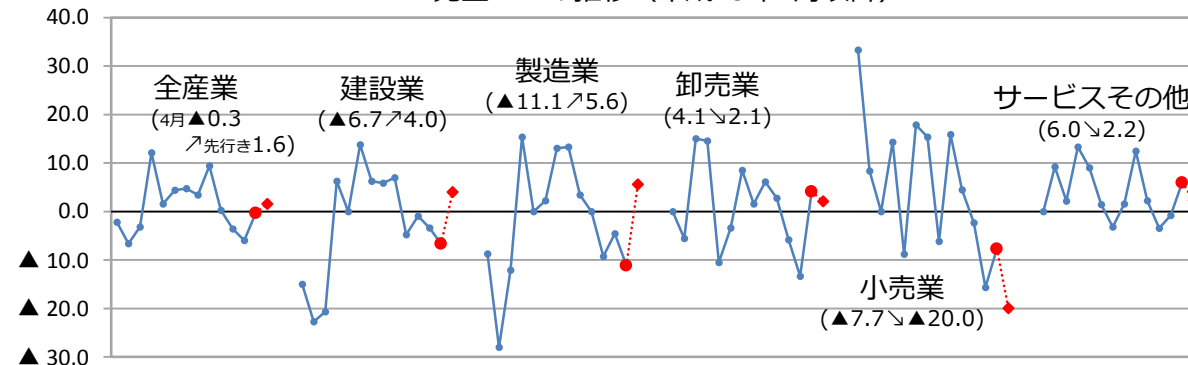
従業員D Iの推移（平成29年4月以降）



### 4月の売上D Iと先行き見通し

売上D Iは▲0.3と4カ月ぶりに増加。先行きD Iは1.6とプラスに転じた増加を見込む。

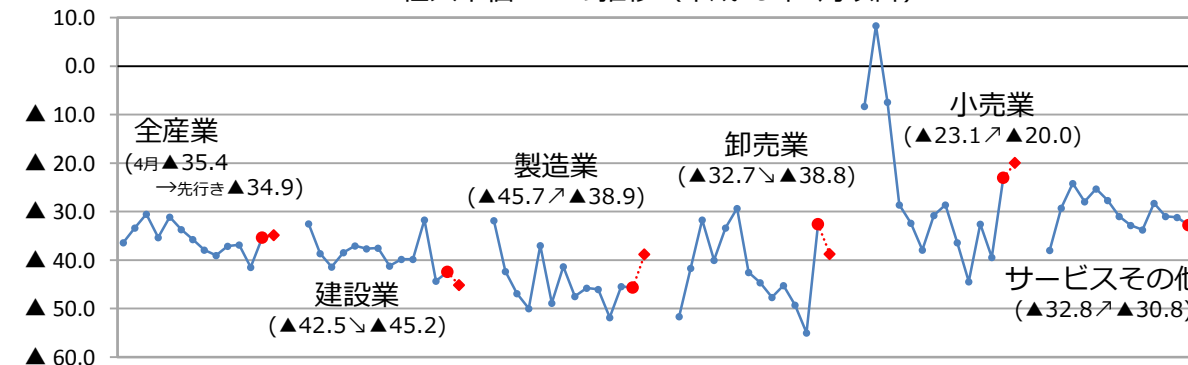
売上D Iの推移（平成29年4月以降）



### 4月の仕入単価D Iと先行き見通し

仕入単価D Iは▲35.4と前月から増加に転じた。先行きD Iは▲34.9とほぼ横這いを見込む。

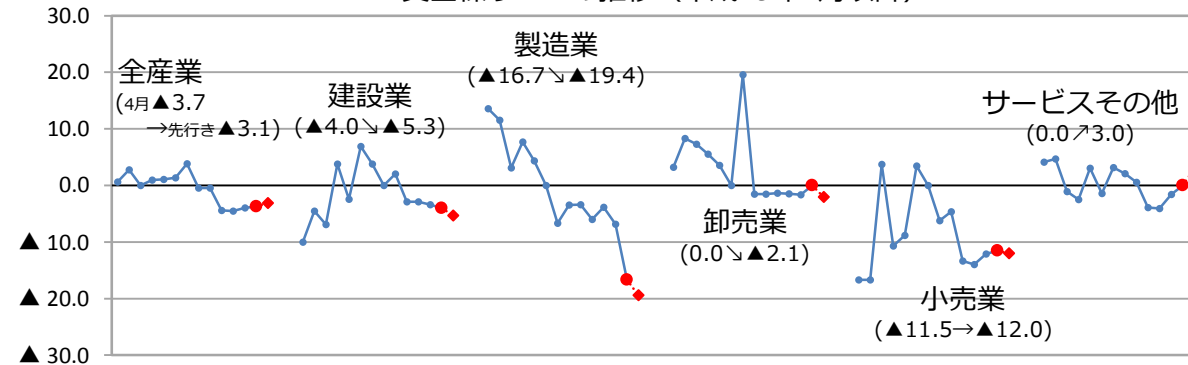
仕入単価D Iの推移（平成29年4月以降）



### 4月の資金繰りD Iと先行き見通し

資金繰りD Iは▲3.7と3カ月連続で足踏み。先行きD Iも▲3.1とほぼ横這いを見込む。

資金繰りD Iの推移（平成29年4月以降）



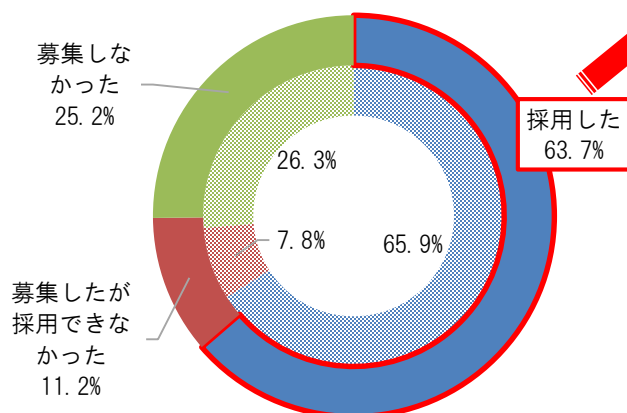
## ② 採用動向について

### 平成29年度の採用実績について

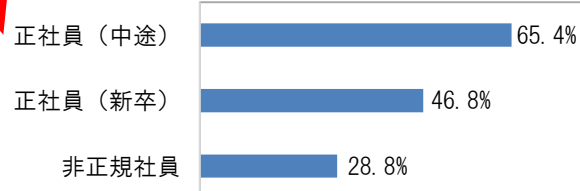
- ▶ 平成29年度の採用実績について、「採用した」と回答した企業は63.7%となった。一方で、「募集したが採用できなかった」と回答した企業は11.2%と、前年同月調査時より3.4ポイント増加した。また、採用の雇用形態としては、「正社員(中途)」と回答した企業が65.4%と最も多く、次いで「正社員(新卒)」が46.8%、非正規社員が28.8%となった。
- ▶ 採用計画の充足状況について、「正社員(新卒・中途)・非正規社員」に問わず、「予定した人数を確保できた」と回答した企業は約6割に留まった。一方、「予定した人数を確保できなかった」と回答した企業のうち、予定とは異なる雇用契約での採用について、「不足分の採用はしなかった」と回答した企業が圧倒的に多く、85.9%となった。

#### 【平成29年度の採用実績について】

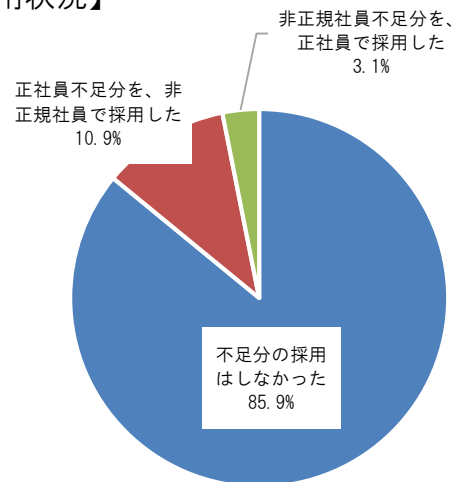
※円グラフ外側が今回調査、内側は前年同月調査



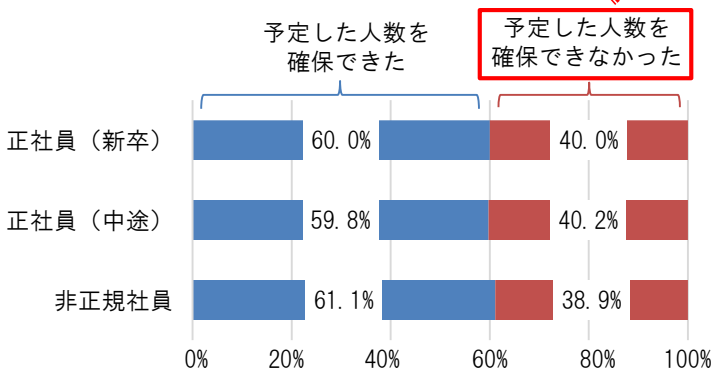
#### 【採用の雇用形態】



#### 【予定とは異なる雇用契約の社員の採用状況】



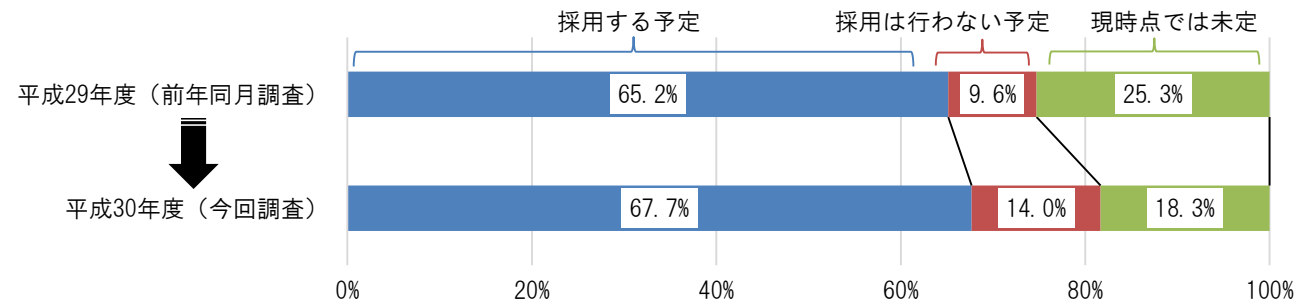
#### 【平成29年度の採用充足状況について】



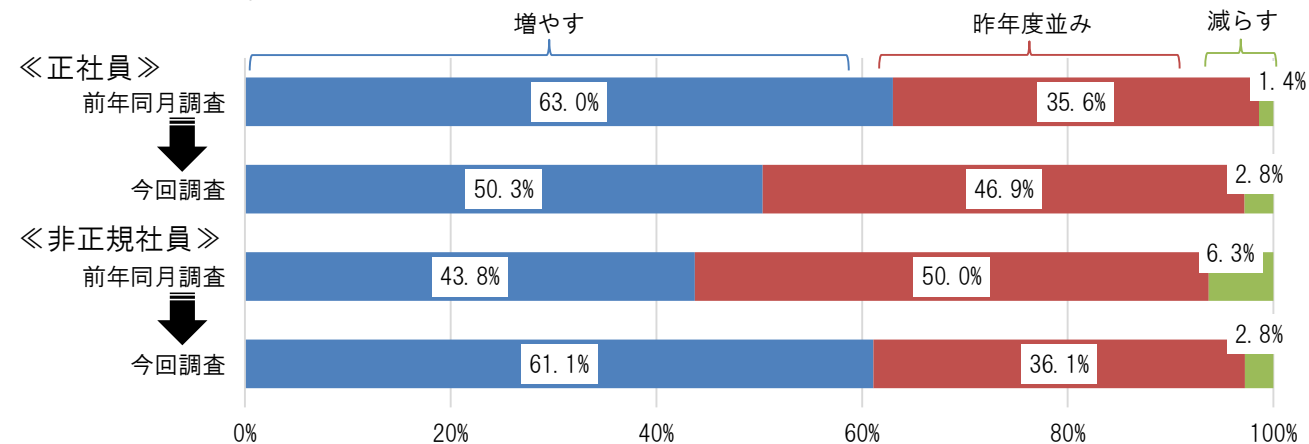
### 平成30年度の採用見通しについて

- ▶ 平成30年度の採用見通しとして、「採用する予定」と回答した企業は67.7%と、前年調査時と比較して2.5ポイント増加した。一方、「採用は行わない」と回答した企業は14.0%と、前年調査時より4.4ポイント増加した。
- ▶ 平成30年度の採用方針については、正社員の採用を「増やす」と回答した企業は50.3%と、前年調査時より12.7ポイント減少した。一方で、「昨年度並み」・「減らす」と回答した企業は前年調査時よりそれぞれ11.3ポイント、1.4ポイント増加した。また、非正規社員については「増やす」と回答した企業が61.1%と、前年調査時と比較して17.3ポイント増加した。一方で、「昨年度並み」・「減らす」と回答した企業は前年調査時よりそれぞれ13.9ポイント、3.5ポイント減少した。

#### 【平成30年度の採用見通しについて】



#### 【平成30年度の採用方針について】



## 会員の声

- ▶ 働き方改革の一環として時間外勤務を抑制するためには、自社の経営施策だけでは対応できず、建設業界(ゼネコン)や設備衛生業界(サブコン)等の経営施策に期待する側面が大きい。すでに、ゼネコンの中には2020年を目標に具体的な取り組み方針も出ており、弊社も追随できればと考えている。…【設備工事業】
- ▶ 新卒採用の応募が少なく、本州企業に当たり負けしていると感じる。【電気通信工事業】
- ▶ 大規模な新規設備投資をする予定だが、運用するための人手が不足している。コストを懸けてでも人材を採用したい。…【鉄鋼製品加工・販売】
- ▶ 定期採用に加え、随時人員補充を図る採用も行っており、近年の採用者数は増加傾向にあるが“攻め”の採用ではない。…【製粉業】
- ▶ 5月より配管バルブ資材の仕入価格の値上げが決定したが、建築付随工事などを含む長期的案件において、見積提示済みを理由に価格転嫁が望めず、利益率の低下が見られる。また、社員の定着率向上を図り、賃上げを実施している。賃上げ水準は、税制優遇を受けられるところまで頑張って引き上げている。…【ボイラー、クリーニング機械販売・修理】

- ▶ 新卒採用を予定し、合同説明会や単独説明会を実施しているが、なかなか人材が集まらない現状である。…【家庭用機械器具小売業】
- ▶ 新卒採用は行っているが、退職者も同様に出るため増員にはなっていない。…【ソフトウェア開発業】
- ▶ 設備投資に関しては安全・故障・漏水関係は5ヶ年計画に沿って行っている。客室リニューアルも今年度より順次計画に落とし込む予定。施設稼働経費・客室清掃費・配膳経費等の上昇を見据えた、価格設定を考えるにあたり、商品・サービスの価値向上も同時に行っていく必要がある。…【旅館・ホテル】
- ▶ 平成31年の消費税増税が近づく中、その後の景気がどうなるか分からないまま、設備投資や社員の増員を行って良いものか不安である。…【一般貨物・自動車運送業】